

2014年8月26日

「化石・ふしぎな石～アンモナイトのレプリカをつくろう・木の葉化石もさがそう～」

小学生を対象に、図書館夏休み科学あそび「化石・ふしぎな石～アンモナイトのレプリカをつくろう・木の葉化石もさがそう～」を開催しました。

科学読物研究会会員の坂口美佳子先生の指導により、アンモナイトのレプリカ作りや木の葉の化石さがしを体験しながら、化石や岩石について学びました。



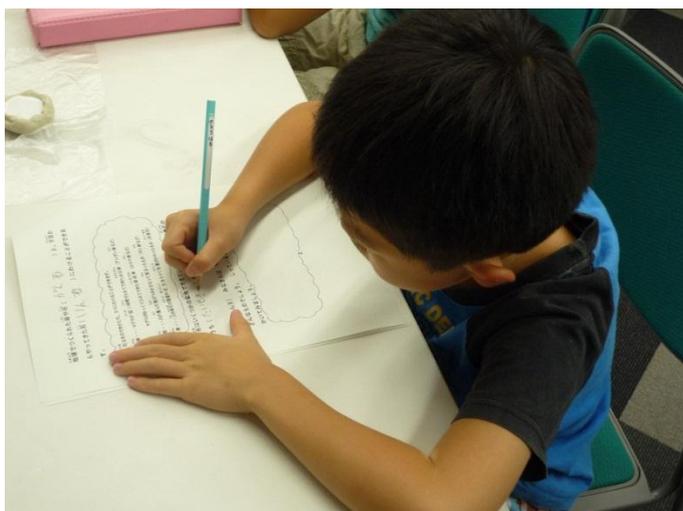
机には坂口先生が持ってきてくださった化石がズラリ！



まず最初に、アンモナイトのレプリカ作り。
油粘土にアンモナイトの化石を押し当てて、型をとります。



アンモナイトの型に石膏を流し込み、固まるまでそ〜っと置いておきます。



アンモナイトのレプリカが固まる間、岩石や化石について学びます。
化石は「堆積岩(たいせきがん)」という岩石の中に見つかることがあります。
化石について知っていることを絵や言葉でかいてみましょう。



みんなはどんな化石を知っているかな？という質問に、「恐竜」「アンモナイト」
「コハク」「三葉虫」「アノマロカリス」など、たくさん答えが返ってきました。



化石として残りやすいのは、骨や歯、貝殻など体の固いところです。
化石を調べると、その化石が見つかったところがどのくらい古い時代のものか、
どんな場所だったのかが分かります。

木の葉の化石をさがそう！



この石は30万年ぐらい前に、那須塩原にあった火山がつくった湖に
砂や土、火山灰などが積み重なって固まり、バームクーヘンのようになった石です。



一人ずつ木の葉石を割って、化石を探してみます。
色が変わっている化石の筋にへらをあてて、金づちで叩くと…



木の葉の化石を発見！

葉脈まできれいに残っていて驚きます。

出てきた化石と残りの石も、新聞紙につつんで持ち帰ります。



最初に作ったアンモナイトのレプリカが固まりました！

粘土をそっと広げて、中から固まった石膏のレプリカを取り出します。

レプリカに色を塗りたい人は2、3日自然乾燥させて、しっかり固まってから水彩絵の具やポスカで塗ってくださいね。



本物のアンモナイトの化石は先生からのプレゼントです。



木の葉の化石さがし体験や、アンモナイトのレプリカ作りなど盛りだくさんの内容で大好評でした。



最後に先生おすすめの科学の本を紹介していただきました。

府中の図書館で借りられる本もたくさんあるので、興味のある方はぜひお越しください。